笠間市台湾 インバウンド推進協

笠間工芸の丘社長)を設立し発会式が行 われました。 インバウンド推進協議会(福永信一会長: れ態勢の整備を目的として、笠間市台湾 行客が快適に滞在できるよう、 月9日(月)、 笠間市を訪れる台湾人 受け入

した。 ドにはそこでしかできない特別な体験と 茨城全体のインバウンドを盛り上げるき あり「台湾交流事務所は笠間だけでなく」 る台湾の東豪旅行社(陳社長)の講演が発会式後には、市が事業提携をしてい おもてなしがポイント」とお話をいただきま っかけになると感じている。インバウン

なるように、観光客誘致に取り組 こんでい

挨拶をする福永さん(左)と 副会長の河原井 信之さん

流事務所の設置を予

弯インパウンド推進協議会 設立発会式

進めていて、

台湾交

らゴルフ場利用客や

観光客の誘致拡大を

社と協力し、

市では、

東豪旅行 台湾か

きたい」と協力の姿

勢を示しました。

本県への台湾からの

インバウンドが非常

「茨城空港の台湾チャーター

また、

県国際観光課の

榊原課長から

便もあり

に伸びている。チャーター便が定期便に

ング新人王決定戦で、 **量施郁哉選** 3 月 15 H 昨年行われた第4回ボクシ

表敬訪問しました。 :哉選手(19歳: 友部二中出身)が市を 新人王に輝いた富

彰」が授与されました。 い活躍をされた方々に贈る「笠間 新人王に輝いた富施選手には、 目覚ま 市表

ます。 ングスタイル。「テクニックを人一倍磨か まで行きたい。」と抱負を語りました。 ないといけない。とにかくいけるところ い。」と期待のコメントを送りました。 これからも活躍を期待し応援していき 富施選手はサウスポー 「さらに高いところを目指してほし のアウト -ボクシ 市



富施さん(右)

子どもたちの安心・ のために

8

店長の大峰秀一さんから寄贈されました。 事副組合長の南指原賢治さんと友部基幹 さんから、 犯ブザーが常陽銀行友部支店長※の水上 市内の小学校へ入学する新一年生 黄色い通学帽がJA常陸代表理 支

ちの防犯の一助として、犯罪抑止につなが の交通事故なども取り上げられているので、 れば」南指原さんは「高齢者による通学途 毎年行われており、水上さんは「子どもた この寄贈は、 地域貢献活動の一環として 中

この帽子によってドラ できれば」とそれぞれ話 存在を知らせることが イバーに子どもたちの

されました。

バーが笠間 全協会より、 また、ランドセ 地区交通 黄色い傘 ル 安 力

域全体で守り、 子どもたちの安全を地 会より寄贈されました。 が笠間市交通安全母の て生活できる社会をみ んなで作っていきまし 安心し

※3月寄贈当時



南指原さん(中央)、大峰さん(右)



水上さん(右)

浩。防

荷門前通り 屋本館が、新たに「か ルともいえる旧井 4月1日、 0 シシンボ 笠間 筒 稲

造3階建ての旧井筒 ました。 明治時代建築 0) 木

笠間市のPR映像を制作し寄贈いただい 吟を吟じて華を添えてくれました。 光インフォメーション、2階が歴史展示 る拠点として整備したもので、 屋本館を笠間の歴史や観光情報を発信 ーナー、3階が会議室となっています。 いた大嶋知葉さん、希海さん姉妹が詩オープン記念式典では、詩吟日本一に 1階は観 また、

コ



さま歴史交流館井

屋」としてオー

和服を楽しむ参加者の皆さん

が贈られました。 ニーの久野幹雄会長(箱田出を行っている(株)ヌーベル た、主に日テレやNHKの番組制作など 感謝状を受け取る久野 幹雄さん(右) (箱田出身) **ま歴史交流館井筒屋オーブニングセレモニー** バーグカンパ 詩吟を披露する大嶋 和葉さん(左)、希海さん



笠間義士会の皆さん

行われました。 の移設工事の完了を記念し、 Oた、「大石内蔵助 もと、 4月1日、 長く佐白山ろく公園に鎮 笠間義士会の皆さん 良雄像」の大石邸 式典が執り 座 0 跡 参加 して

り、「歴史・文化・芸術のまち笠間」の発展 民や観光客の忠臣蔵への関心がより高ま 笠間市とのつながりが紹介されていて市 板には、 に寄与できるものと考えています。 像の移設に伴い新たに設置され 赤穂藩浅野家と大石家の 由来や、 た案内

りを進めていきます。 にしながら皆さんに愛されるまちづく これからも市では、 笠間市の歴史を大



入学された皆さん

県立笠間陶芸大

とそれぞれ新入生にエールを送りました。 ざまな支援を行っていくので、 は笠間の発展に欠かせない産業。市もさま くりに励んでほしい」市長からは「笠間焼 自分を見つめる自分の目を持ってモノづ 校の入学式が開催され、 み続けて笠間焼の普及に尽力してほし 分のモノづくりがどこにあるのかを考え、 ウ)さんが研修生として迎えられました。 きたタイのメーファールアン財団より 芸学科10名、 イッパワン・ドゥアンドクムン(通称: 4月6日(金)、 金子学校長からは「陶芸の歴史の中で自 また、 陶芸を通して交流を深めて 研究科2名の方が入学しま 茨城県立笠間陶芸大学 3期生とし 笠間に 7 ユ テ